



■特定健診受診率(法定報告)■

資料4 - 1



令和3年11月3日現在

年度	特 定 健 診			
	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	目標率(%)
平成20年度	11, 194	3, 386	30. 2	40
平成21年度	12, 057	4, 165	34. 5	50
平成22年度	12, 214	4, 266	34. 9	55
平成23年度	12, 483	4, 348	34. 8	60
平成24年度	12, 541	4, 460	35. 6	65
平成25年度	12, 564	4, 802	38. 2	40
平成26年度	12, 326	4, 339	35. 2	45
平成27年度	12, 072	4, 431	36. 7	50
平成28年度	11, 256	4, 340	38. 6	55
平成29年度	10, 859	4, 413	40. 6	60
平成30年度	10, 452	4, 401	42. 1	40
平成31年度	10, 066	4, 167	41. 4	43
令和 2年度	9, 985	3, 673	36. 8	45

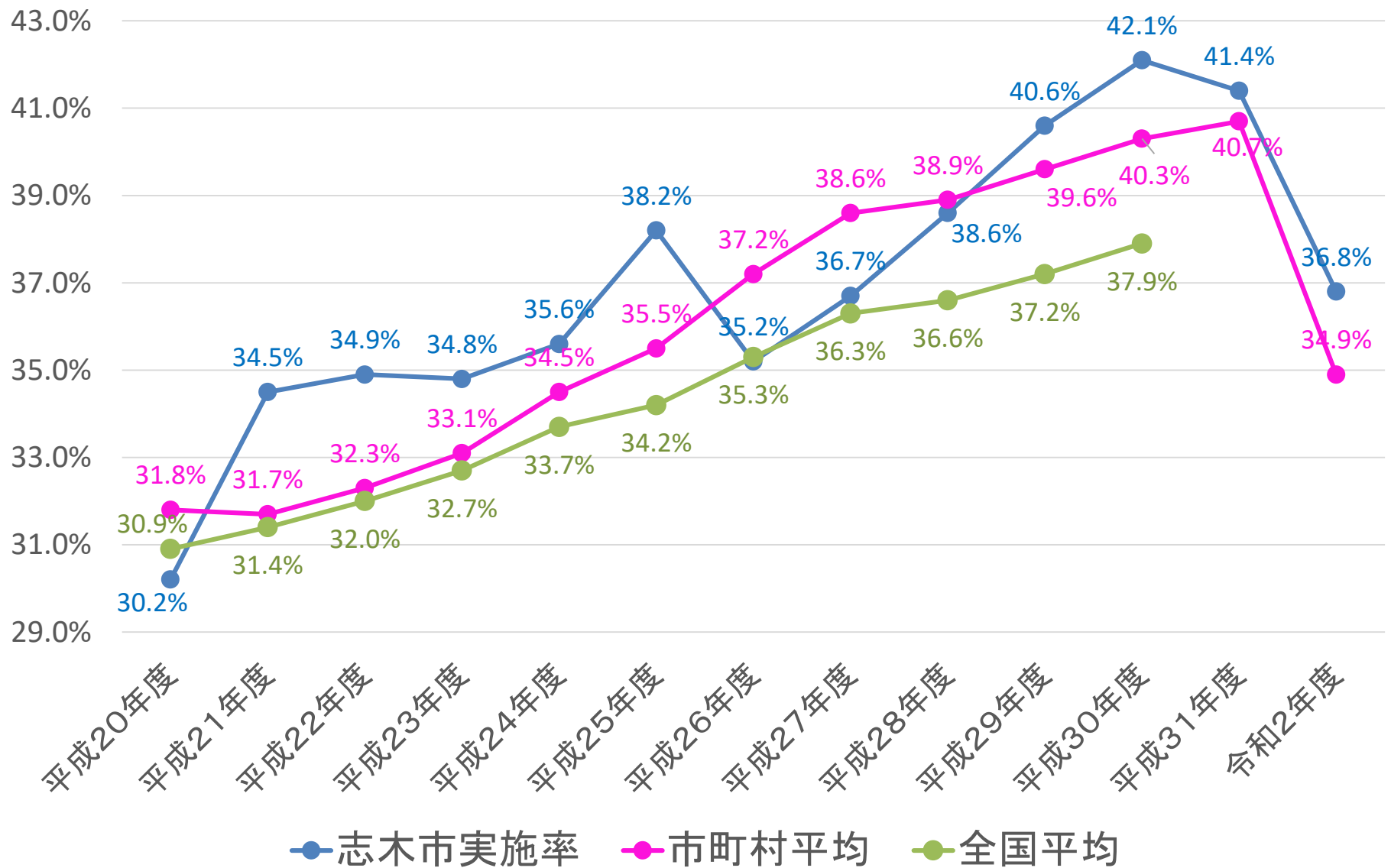


■特定保健指導実施率(法定報告)■

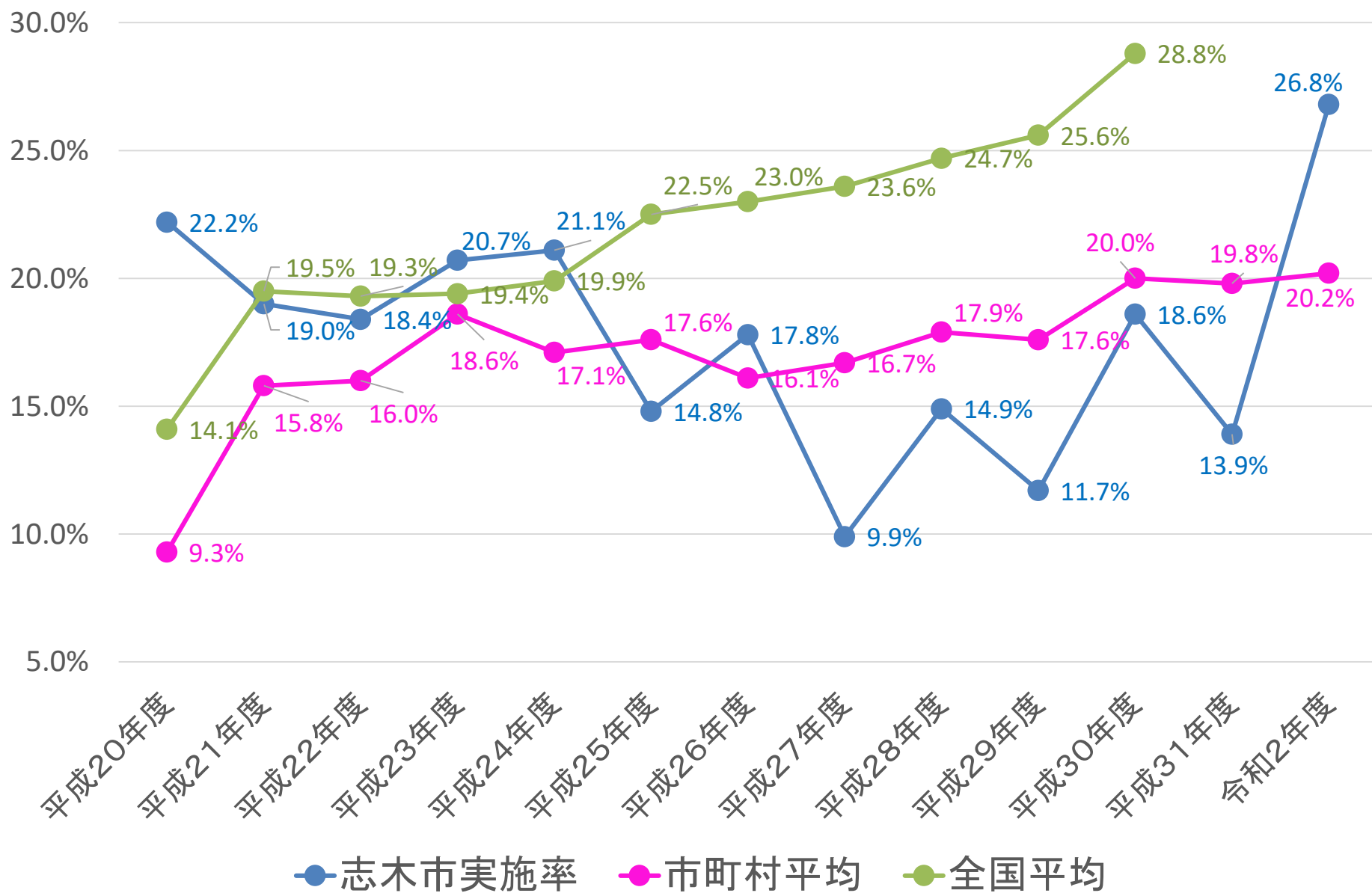


年度	特定保健指導			
	対象者数(人)	実施者数(人)	実施率 (%)	目標率 (%)
平成20年度	528	117	22. 2	20
平成21年度	562	107	19. 0	30
平成22年度	538	99	18. 4	35
平成23年度	561	116	20. 7	40
平成24年度	521	110	21. 1	45
平成25年度	568	84	14. 8	30
平成26年度	529	94	17. 8	35
平成27年度	527	52	9. 9	40
平成28年度	543	81	14. 9	50
平成29年度	556	65	11. 7	60
平成30年度	548	102	18. 6	20
平成31年度	509	71	13. 9	25
令和 2年度	462	124	26. 8	30

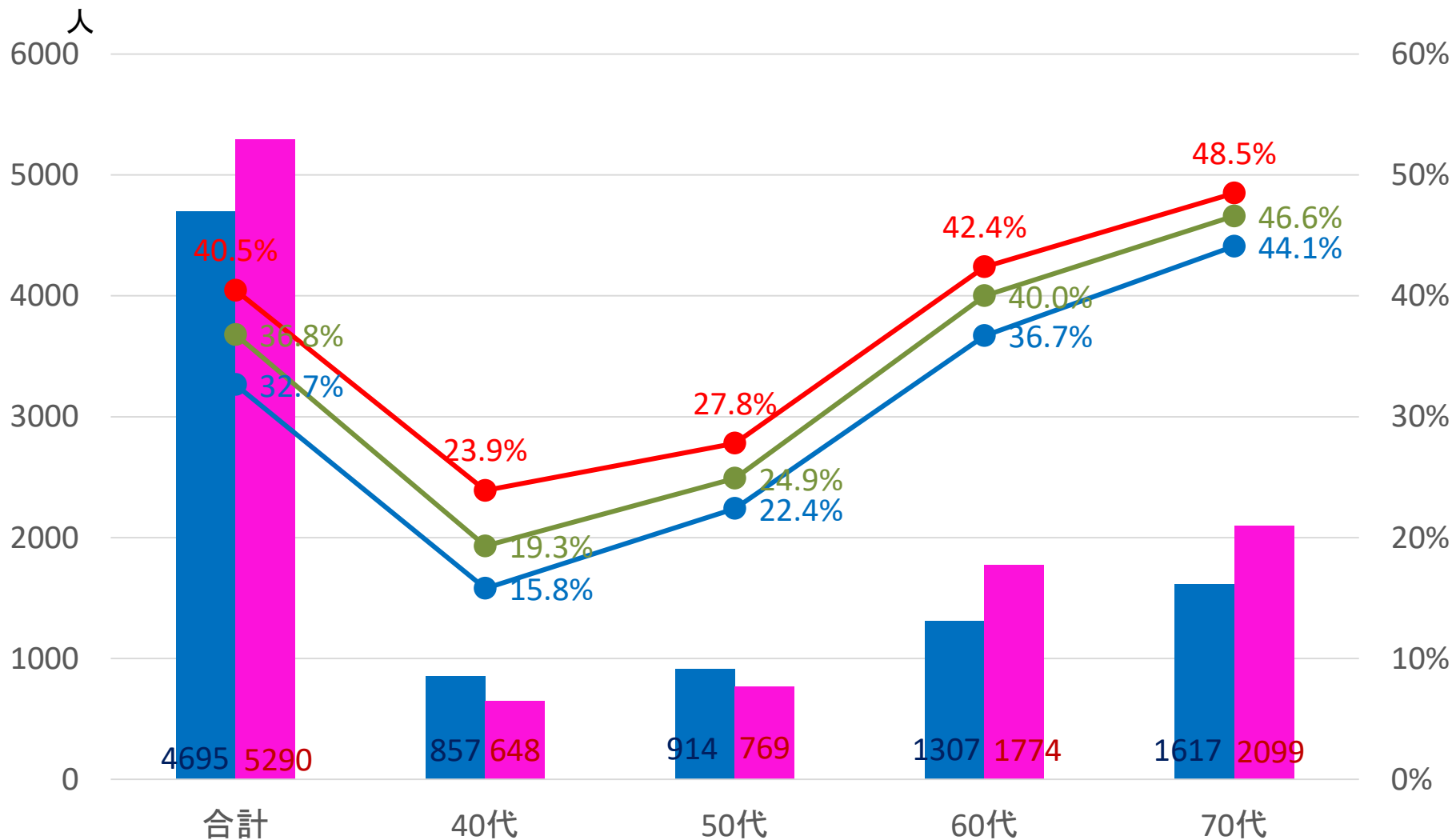
平成20年度～令和2年度 特定健診受診率



平成20年度～令和2年度 特定保健指導実施率

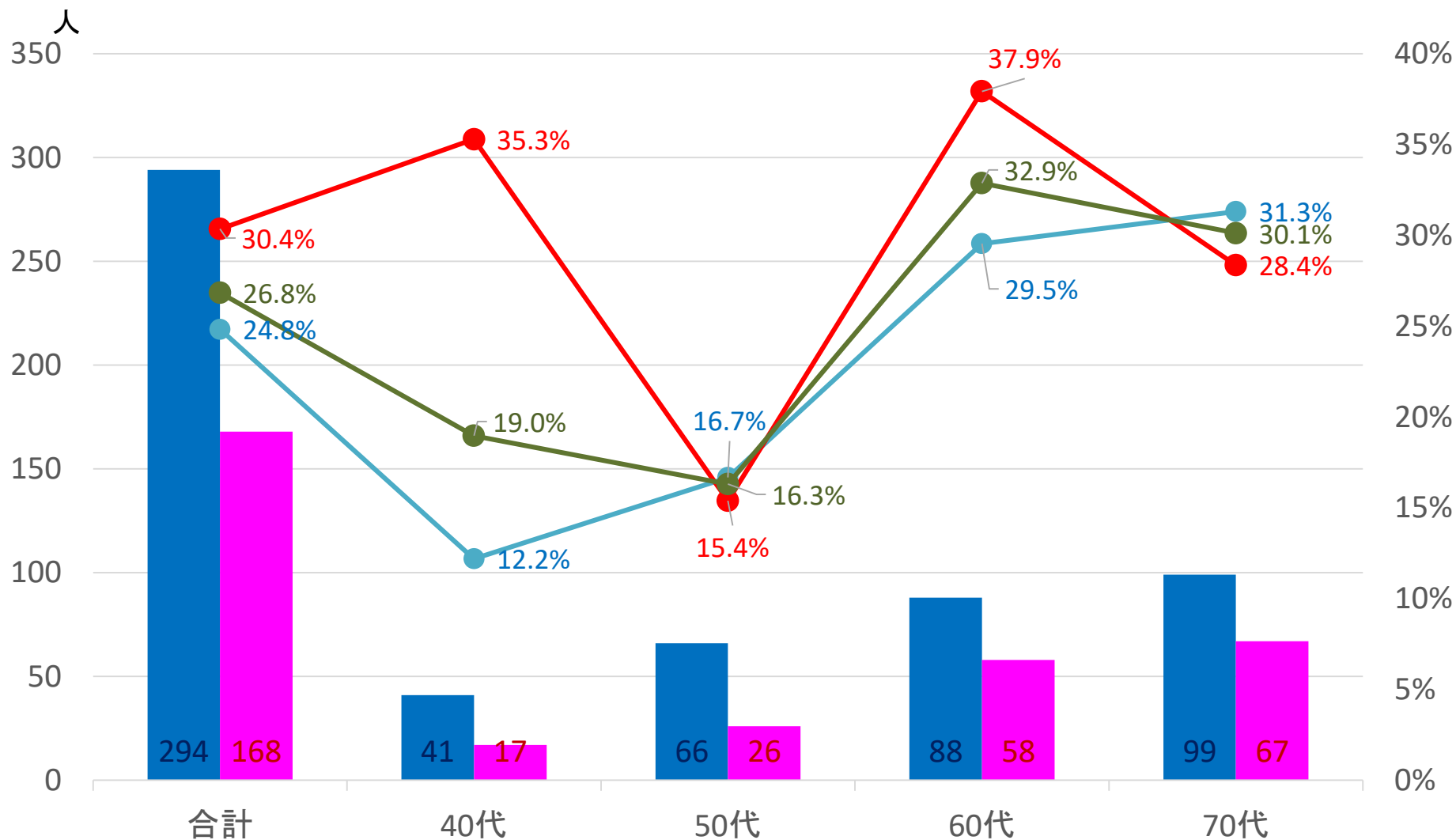


令和2年度 男女別・年齢別 特定健診受診率



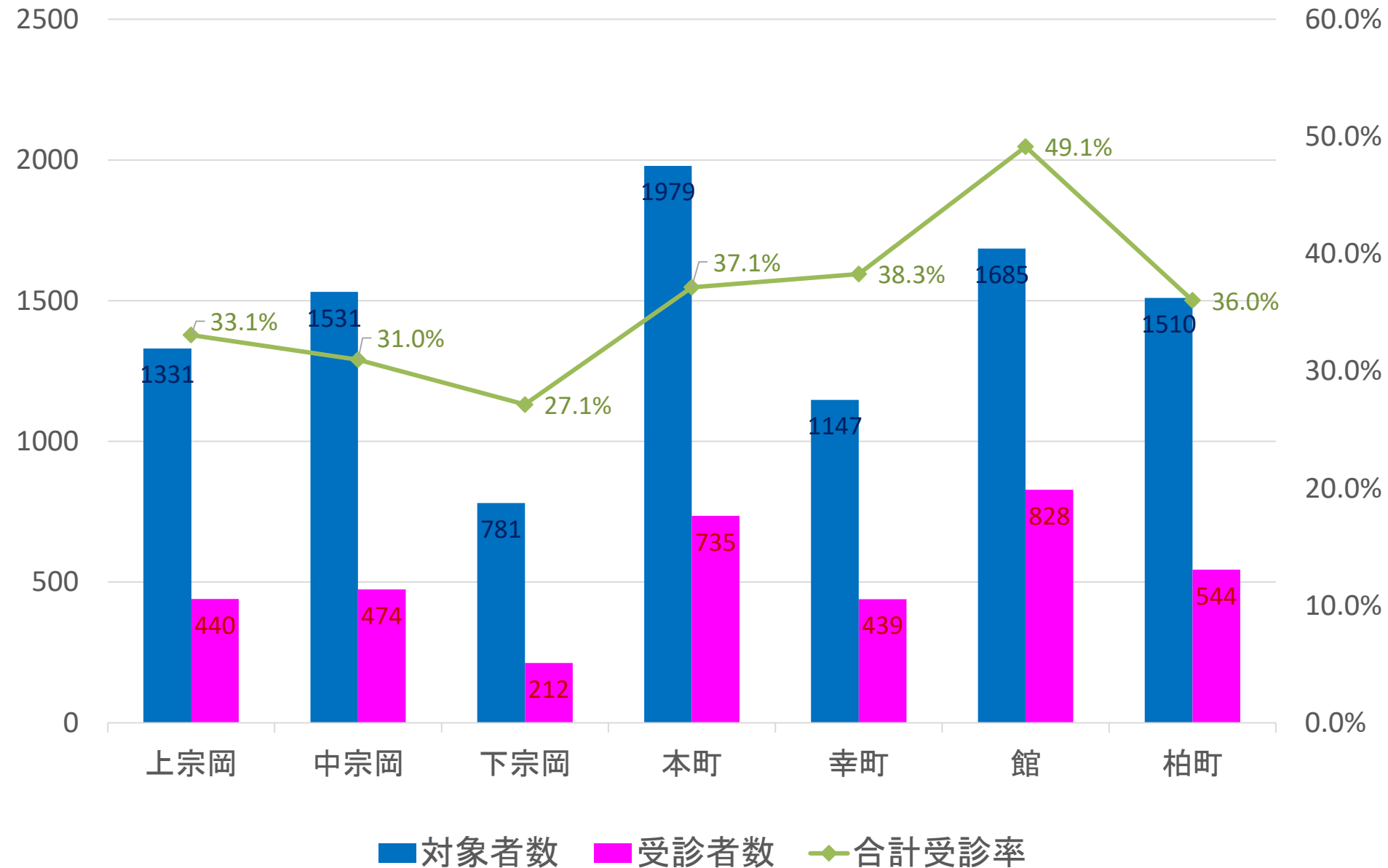
■ 男性対象者数 ■ 女性対象者数 ● 男性受診率 ● 女性受診率 ● 合計受診率

令和2年度 男女別・年代別 特定保健指導実施率

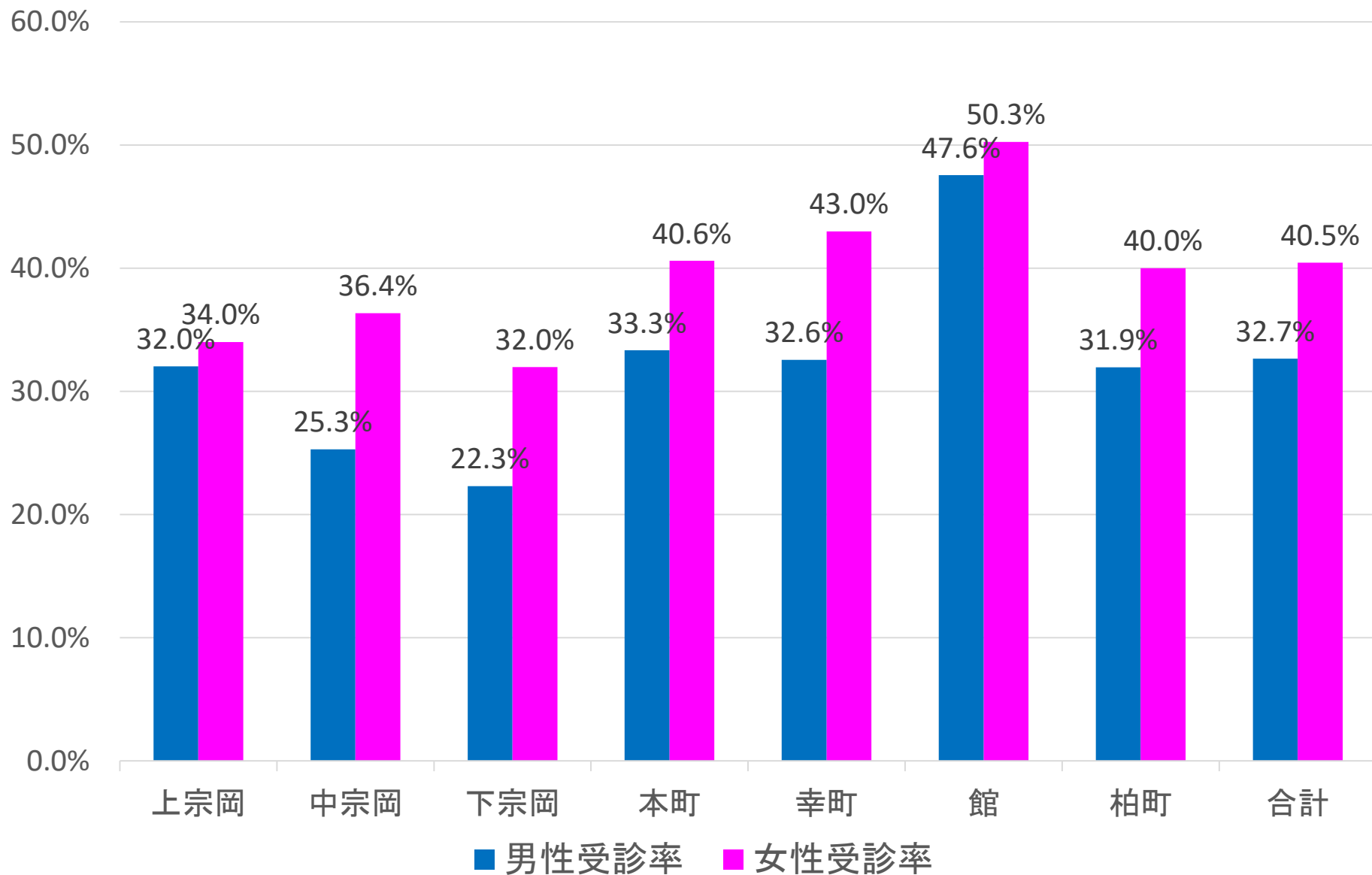


■ 男性対象者数 ■ 女性対象者数 ● 男性実施率 ● 女性実施率 ● 合計実施率

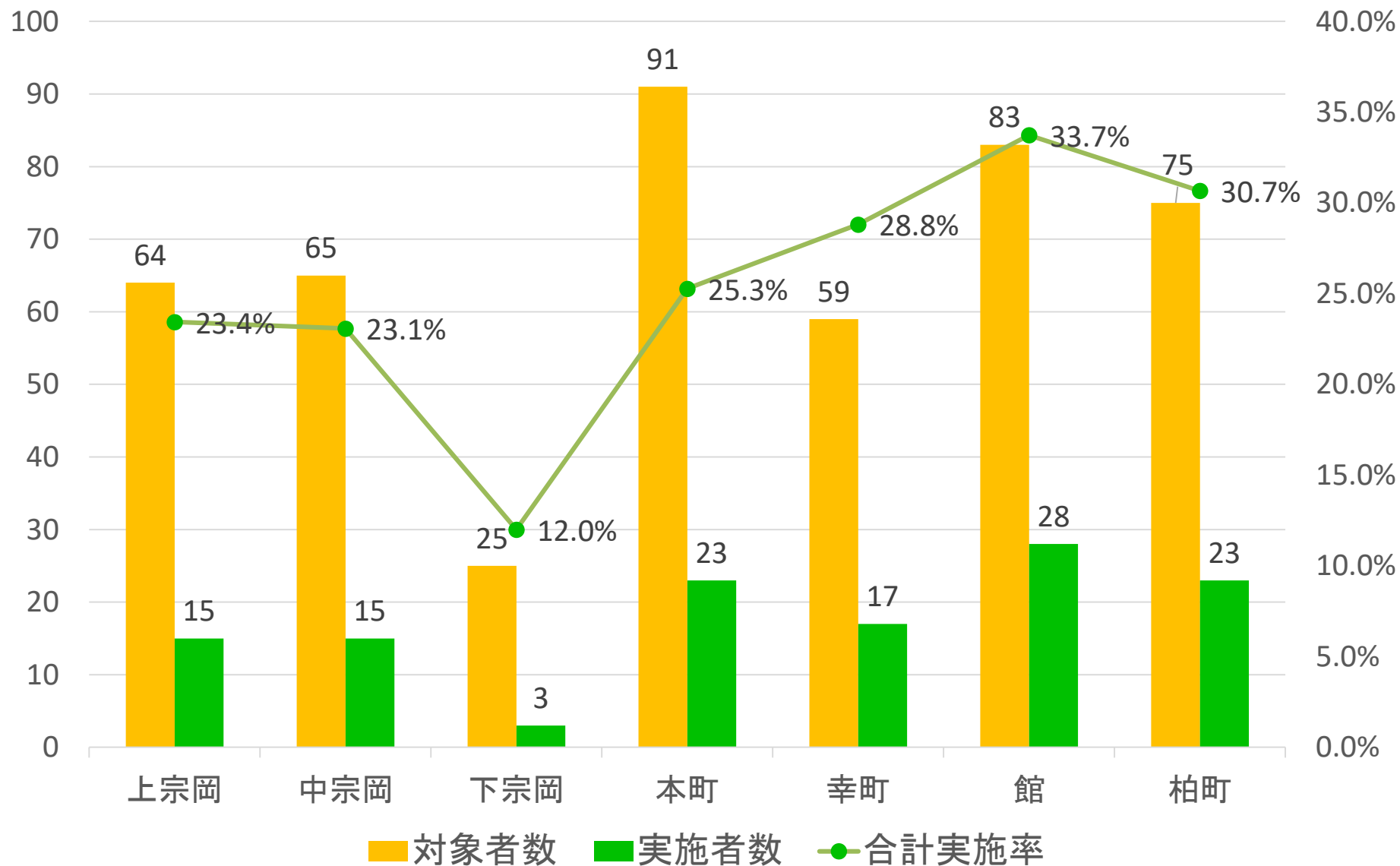
令和2年度 地区別 特定健診受診率



令和2年度 男女別地区別 特定健診受診率



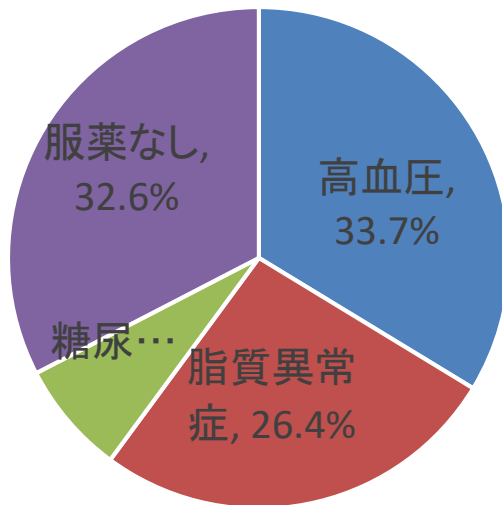
令和2年度 地区別 特定保健指導実施率



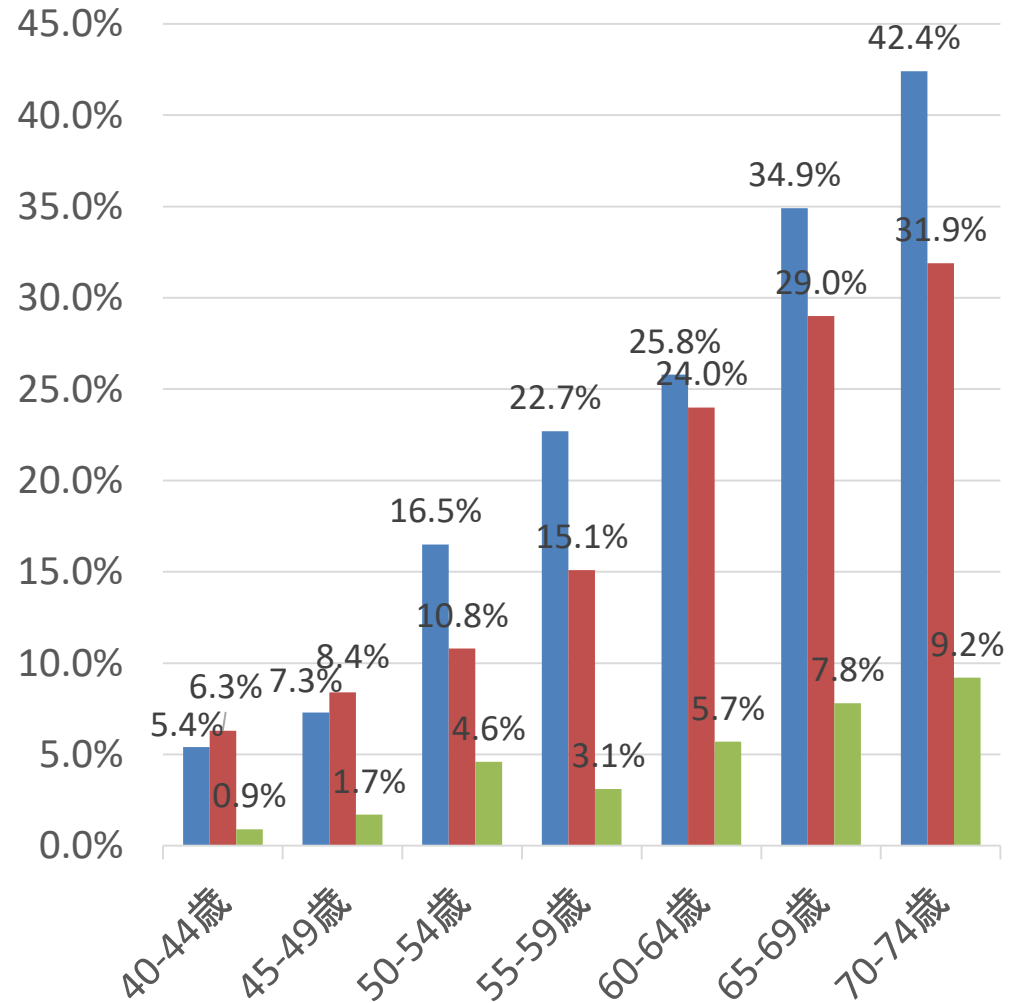
令和2年度 質問票にみる服薬の状況

《全体》

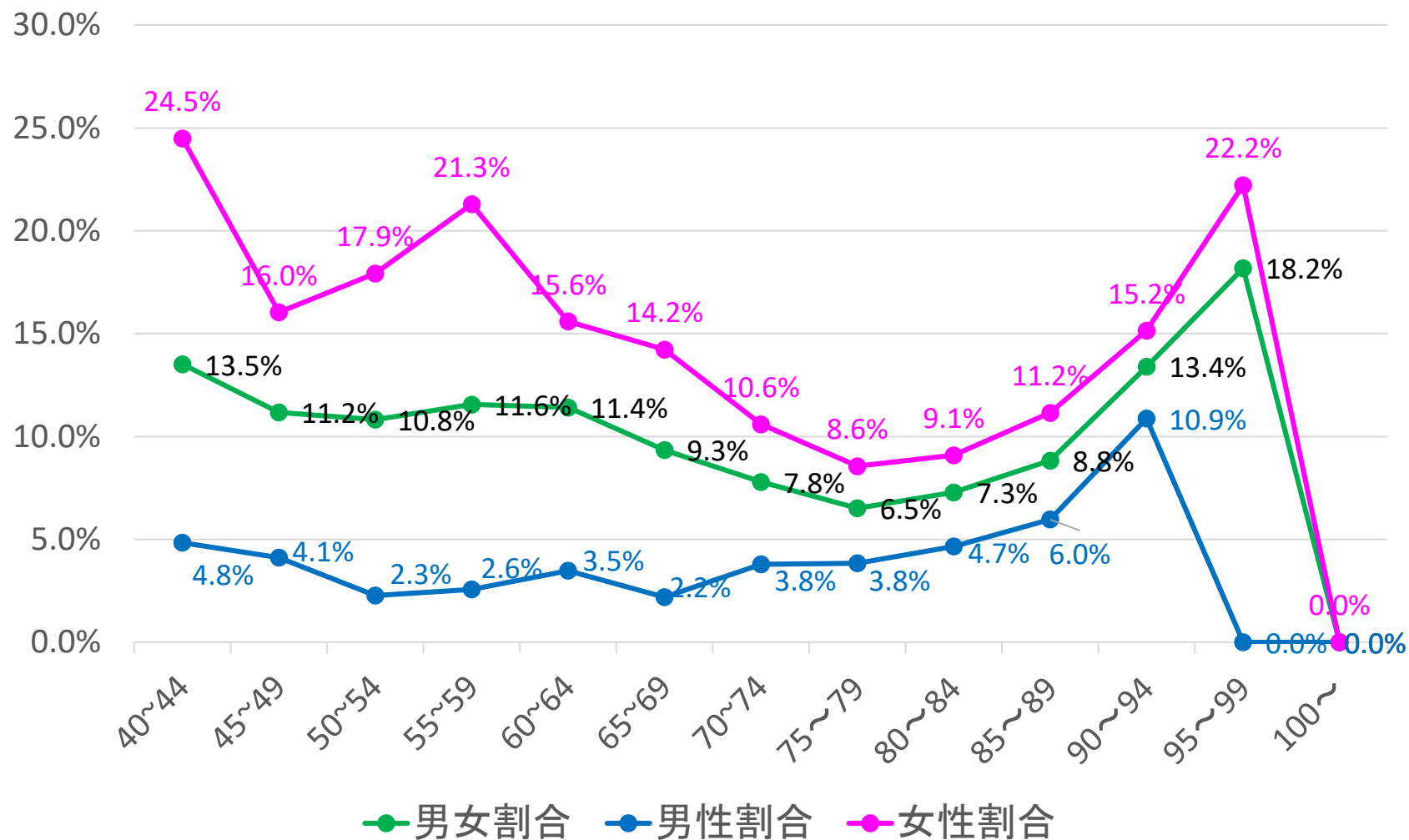
■ 高血圧 ■ 脂質異常症
■ 糖尿病 ■ 服薬なし



《年代別》



令和2年度 年代別 BMI 18.5未満の割合

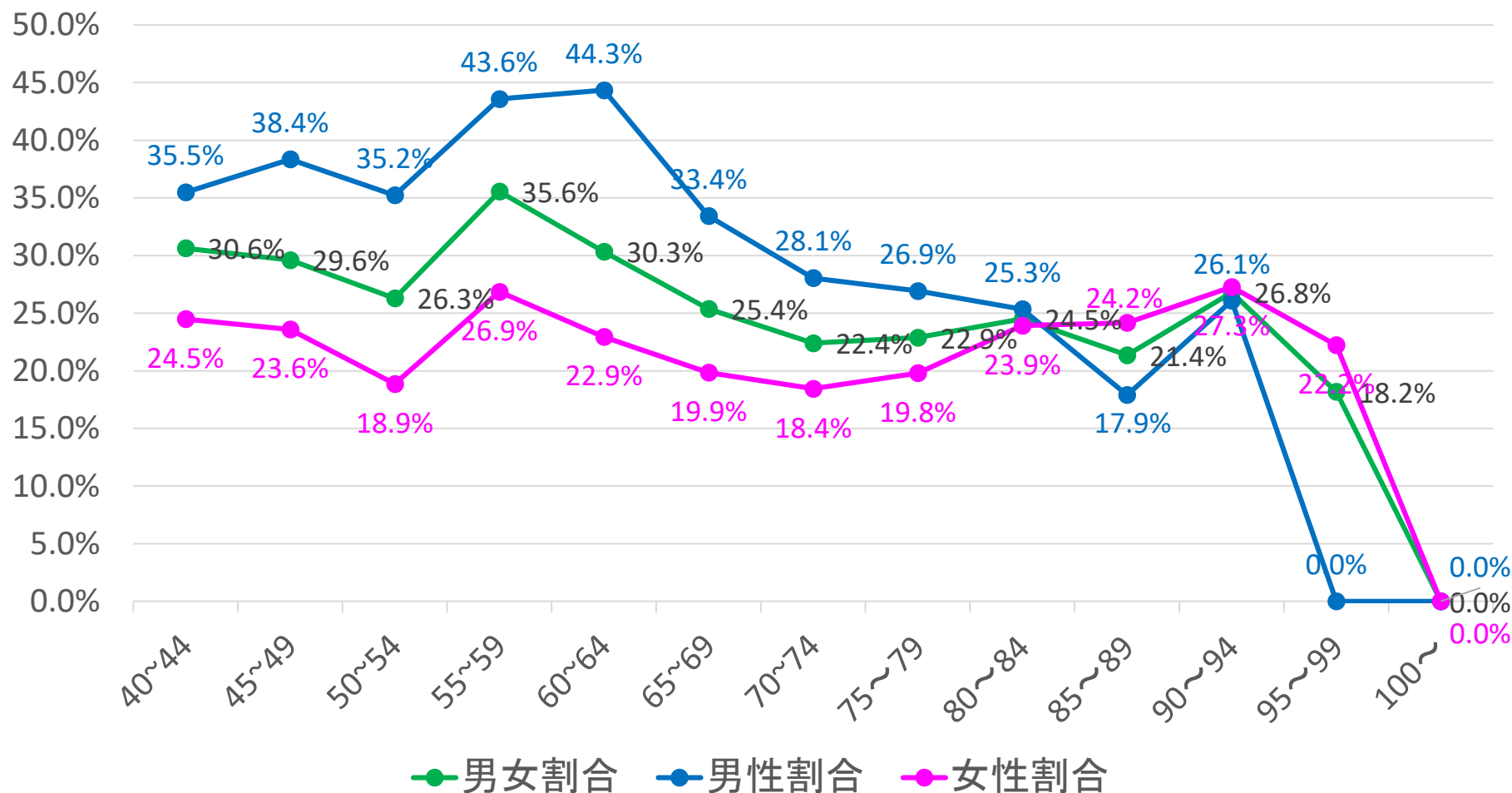


平成31年度国保特定健診と後期健康診査の結果を集計して算出

国保: 法定報告値 (n=3673)

後期: BMIに欠損がある受診者を除外(※75歳未満の受診者は除外)(n=3111)

令和2年度 年代別 BMI 25以上の割合



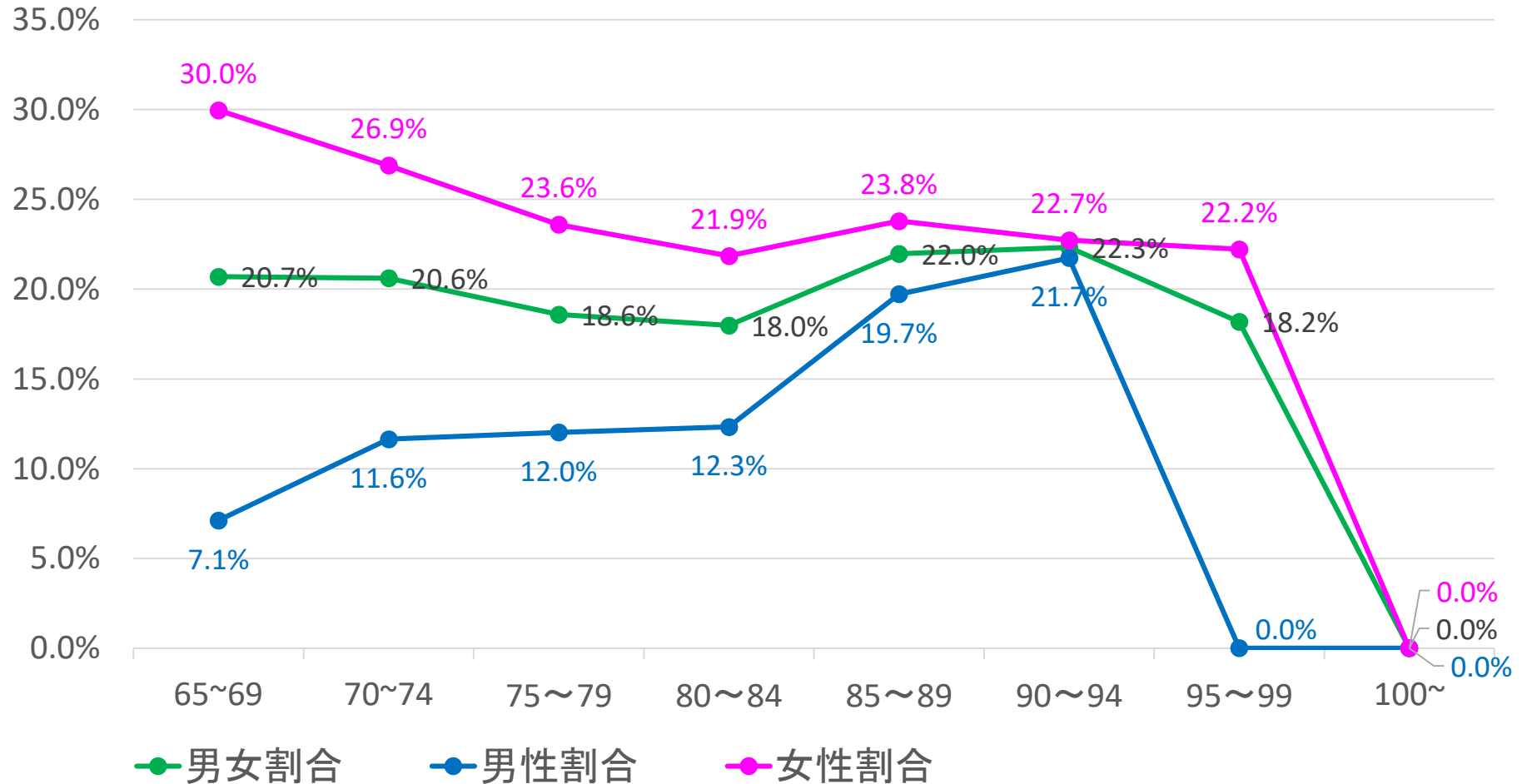
平成31年度国保特定健診と後期健康診査の結果を集計して算出

国保: 法定報告値 (n=3673)

後期: BMIに欠損がある受診者を除外 (※75歳未満の受診者は除外) (n=3111)

令和2年度

年代別 BMI 20以下の高齢者の割合(65歳以上)

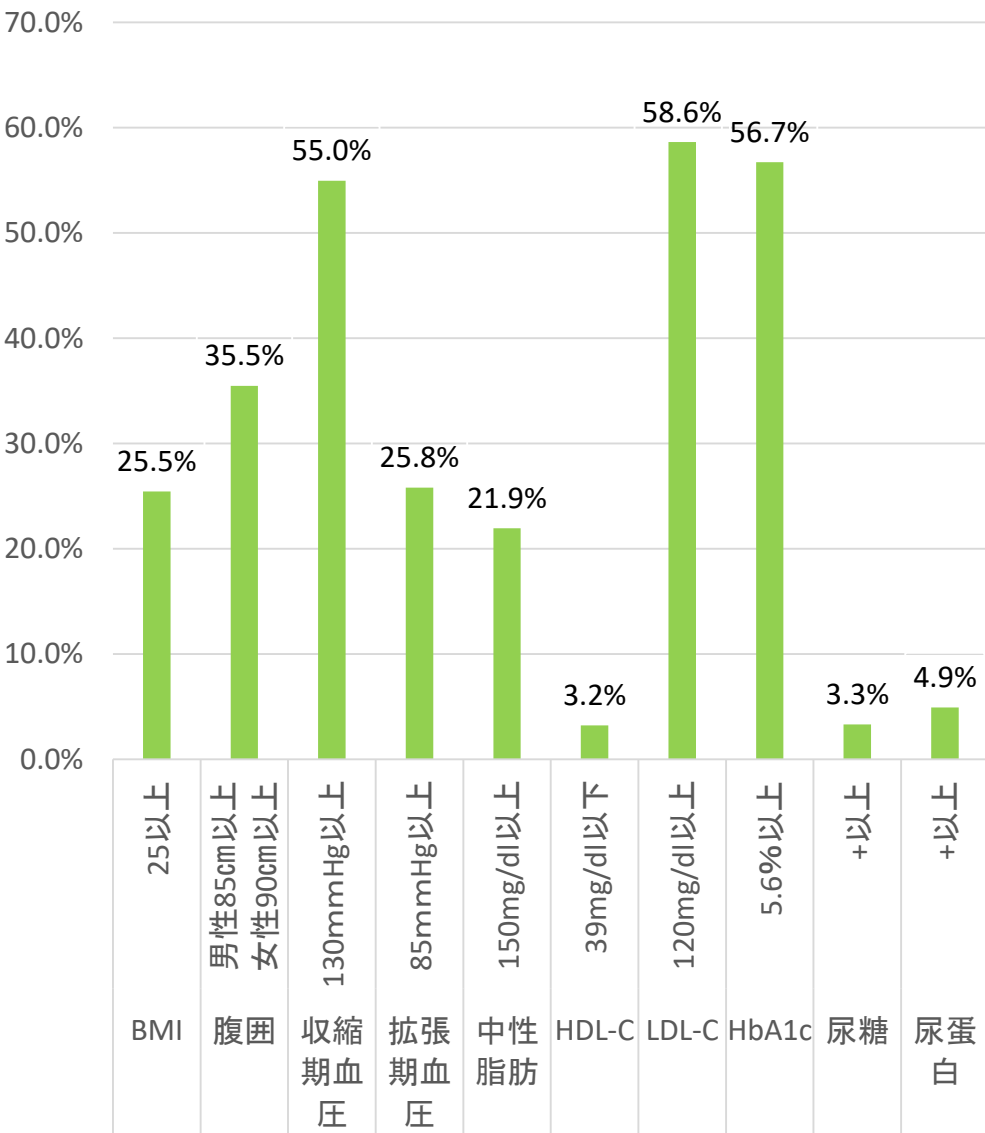


平成31年度国保特定健診と後期健康診査の結果を集計して算出

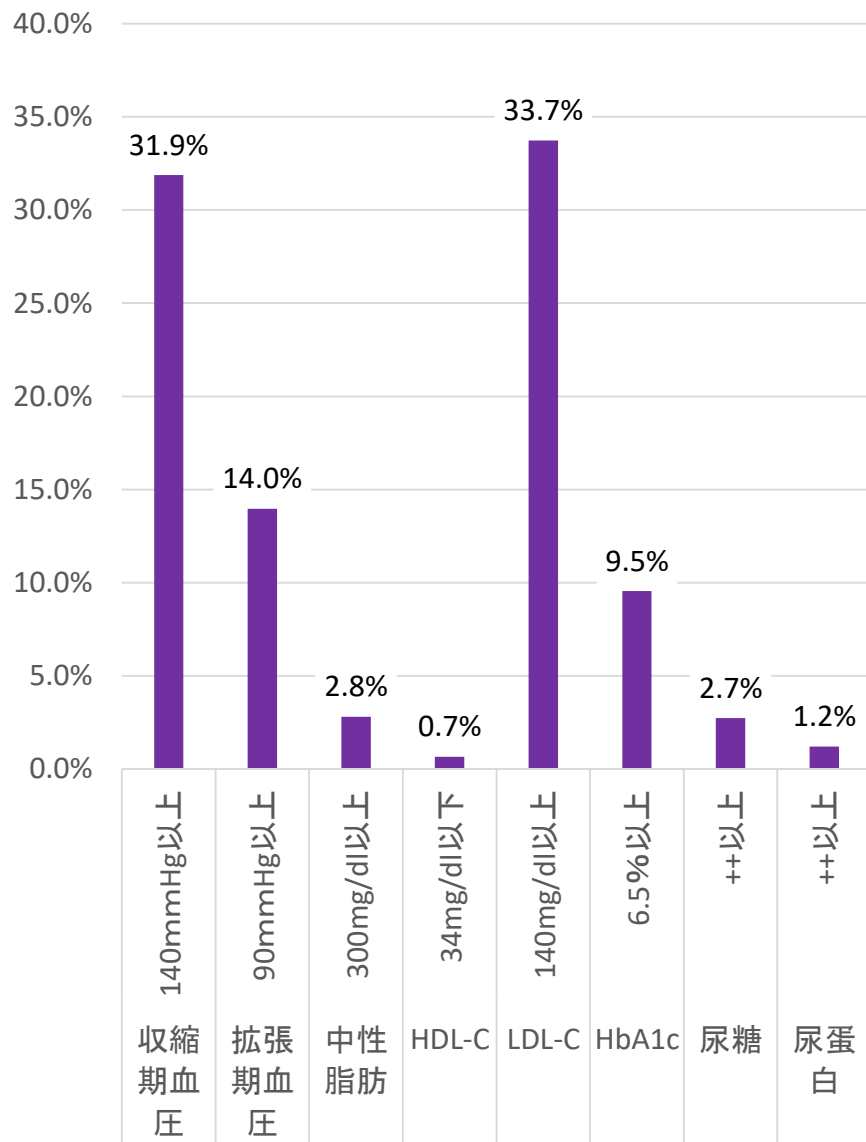
国保: 法定報告値 (n=3673)

後期: BMIに欠損がある受診者を除外(※75歳未満の受診者は除外)(n=3111)

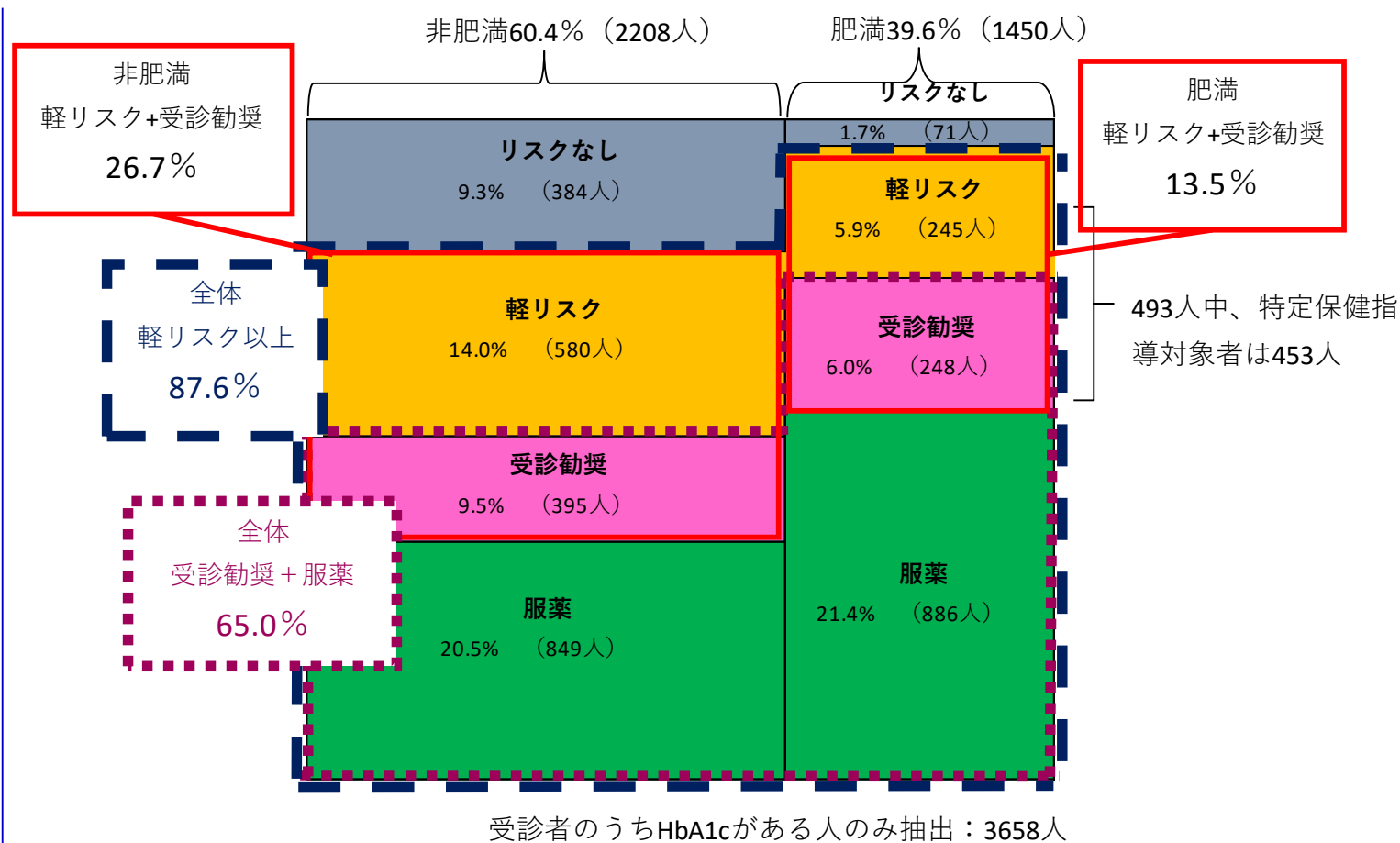
令和2年度 保健指導判定値以上の割合



令和2年度 受診勧奨値以上の割合



令和2年度 肥満・非肥満別に見たリスク保有状況



令和2年度特定健診の結果より、血圧・血糖・脂質の軽リスク以上(受診勧奨・服薬を含む)の割合は受診者全体の87.6%と大きな割合を占めており、前年度と同程度の結果となっています。

肥満・非肥満で分けてリスクの保有状況を分析したところ、肥満で軽リスク・受診勧奨に該当する人は全体の13.5%であり、大部分が特定保健指導の対象者となっています。その一方で、非肥満で軽リスク・受診勧奨に該当する人が全体の26.7%を占めており、このリスク群は特定保健指導の対象者となりません。非肥満のリスク群も含めたリスク保有者に対し、適切に保健事業を実施していく必要があります。